

地域理解プログラム「海外に開かれた長崎：過去・現在・未来」  
実施概要

## 1. 背景

- 地域理解プログラムは、開発途上国の未来と発展を支えるリーダーとなる人材を対象に、欧米とは異なる日本の近代化の経験と、戦後の援助実施国としての知見の両面を学ぶ機会を提供する JICA 開発大学院連携プログラムの一環として、2019 年度より JICA の各国内機関によって開始されたプログラムである。
- 2022 年度については、北九州プログラムに加えて、長崎県立大学との連携覚書に基づき、標記プログラムを同大学と共同で実施することとする。

## 2. 目的

- (1) 長崎は鎖国下においても世界から様々な技術と文化を取り入れた玄関口として知られ、これを端緒として、近代日本の経済・文化等に大きな影響を及ぼし続けてきた。長崎が歴史的にどのような特徴的な変遷を経てきたか、また、どのように多様性を受け入れてきたか、その結果、近代日本の発展にどのような影響を与えたかについて、本プログラムの参加者（JICA 長期研修員および長崎県立大学からの参加学生）に学んでもらい、日本理解の深化・促進を図る。
- (2) 上記参加者に被爆地としても知られる長崎の原爆の被害がどのようなものだったのかを学んでもらい、力強く復興した姿および復興に携わった人々の思いに触れ、改めて平和の尊さを感じてもらう。
- (3) 更に長崎県内における今日的な課題とその解決に向けた取組について、考えてもらう。
- (4) JICA 長期研修員と長崎県立大学からの参加学生との間での交流、討議とネットワーキングの機会を提供する。
- (5) 本プログラムの企画及び運営支援を通して、同県立大学からの参加学生が国際協力への理解を促進し、今後のキャリア形成に活かす機会とする。

### 3. コンテンツ及びスケジュール（※一部変更可能性あり）

コンテンツ及びスケジュールは以下のとおり。

| 日付     | 時間 | 形態        | 内容   | 実施場所             |
|--------|----|-----------|--|------------------|
| 3/6(月) | 午前 | 講義        | 本研修の目的・狙いに関する説明                              | 長崎県立大学<br>シーボルト校 |
|        |    | ワーク       | アイスブレイク<br>(テーマ：母国を紹介しよう)                    | 長崎県立大学<br>シーボルト校 |
|        | 午後 | 講義        | 長崎を学ぶ「長崎と文化」                                 | 長崎県立大学<br>シーボルト校 |
|        |    | 講義        | 長崎を学ぶ「長崎の歴史と今」                               | 長崎県立大学<br>シーボルト校 |
| 3/7(火) | 午前 | 視察        | 長崎平和記念公園、原爆資料館                               | 長崎市              |
|        | 午後 | 視察        | 出島、グラバー園                                     | 長崎市              |
| 3/8(水) | 午前 | 視察        | 祈りの女神  | 五島市              |
|        | 午後 | 講義        | 五島市の基礎情報（課題、主要産業等）及び環境分野における取組紹介             | 五島<br>市役所        |
|        |    | ワーク       | テーマ：<br>五島市と開発途上国の状況を比較して考える<br>「地方が抱える課題」とは | 五島<br>市役所        |
|        |    | ワーク       | 振り返り   | 五島<br>市役所        |
|        | 講義 | クローズセッション | 五島<br>市役所                                    |                  |

### 4. 実施時期

- 2023年3月6日（月）～3月9日（木）  
※3月9日は移動日。

### 5. 参加対象者

- 九州圏内の大学に在籍する JICA 長期研修員のうちの 12 名
- 長崎県立大学の学生 8 名

以上